

塾人社 四択問題 【公民 生活と経済 2】

設問 1		金を貨幣のもととした貨幣制度を金本位制度といますが、現在は採用されていません。では、現在採用されている貨幣制度は何と言う。
選択肢	1	管理通貨制度
選択肢	2	通貨管理制度
選択肢	3	国際貨幣制度
選択肢	4	管理貨幣制度
正解		
解説		

設問 2		金本位制度の時代には、その銀行券と金貨を交換することができました。このような紙幣を何と言う。
選択肢	1	金属貨幣
選択肢	2	兌換紙幣
選択肢	3	不換紙幣
選択肢	4	交換紙幣
正解		
解説		

設問 3		需要が供給より少ない時、価格は上がるか、下がるか。
選択肢	1	下がる
選択肢	2	上がる
選択肢	3	変化しない
選択肢	4	場合による
正解		
解説		

設問 4	市場において、需要と供給の関係で決まる価格を何と言う。	
選択肢	1	均衡価格
選択肢	2	物価
選択肢	3	特売価格
選択肢	4	公共料金
正解		
解説		

設問 5	需要曲線と供給曲線、右下がりのグラフはどちら。	
選択肢	1	供給曲線
選択肢	2	需要曲線
選択肢	3	重要曲線
選択肢	4	どちらも右下がり
正解		
解説		

塾人社 四択問題 【公民 生活と経済 2】

設問 1		金を貨幣のもととした貨幣制度を金本位制度といますが、現在は採用されていません。では、現在採用されている貨幣制度は何と言う。
選択肢	1	管理通貨制度
選択肢	2	通貨管理制度
選択肢	3	国際貨幣制度
選択肢	4	管理貨幣制度
正解		1
解説		現在の日本では、金の保有量に関係なく、国と日本銀行が通貨の発行を管理しているんだよ。

設問 2		金本位制度の時代には、その銀行券と金貨を交換することができました。このような紙幣を何と言う。
選択肢	1	金属貨幣
選択肢	2	兌換紙幣
選択肢	3	不換紙幣
選択肢	4	交換紙幣
正解		2
解説		兌換はだかんと読む。金や銀と交換できる紙幣のことだ。今のように交換できない紙幣のことを、不換紙幣(ふかんしへい)と言う。金属貨幣は現在の紙幣の前に使用されていた。

設問 3		需要が供給より少ない時、価格は上がるか、下がるか。
選択肢	1	下がる
選択肢	2	上がる
選択肢	3	変化しない
選択肢	4	場合による
正解		1
解説		欲しい人(需要)が売りたい人(供給)より少ない、つまり売れ残る状態だ。だから価格は下がる。

設問 4	市場において、需要と供給の関係で決まる価格を何と言う。	
選択肢	1	均衡価格
選択肢	2	物価
選択肢	3	特売価格
選択肢	4	公共料金
正解		1
解説	物価は、さまざまな商品の価格を総合し平均したものだ。また、公共料金は、日常生活に大きな影響を及ぼす財やサービスの料金のことだね。電気・水道・ガス代などが代表的なものだ。	

設問 5	需要曲線と供給曲線、右下がりのグラフはどちら。	
選択肢	1	供給曲線
選択肢	2	需要曲線
選択肢	3	重要曲線
選択肢	4	どちらも右下がり
正解		2
解説	価格が下がると数量が増えるのが需要曲線。グラフは横軸が数量で右に進めば進むほど数量は増える。また、縦軸は価格を表し、上に進めば進むほど価格は高くなるよ。	